

第 12 回 医療関係団体新年互礼会

とき 平成 29 年 1 月 7 日（土）17：00～19：00

ところ ホテルニュータナカ 2 階「平安の間」

[報告：広報委員 長谷川 奈津江]

平成 29 年 1 月 7 日、山口県の 15 の医療関係団体による新年互礼会が山口市で行われた。

河村康明 県医師会長の年頭の挨拶によると、今回の参加者は過去最多だそう。いつも会場である「平安の間」が狭く感じる。

小山茂幸 県歯科医師会長の開会の辞や、横倉義武 日本医師会長の新春のお言葉では、2018（平成 30）年度は、診療報酬・介護報酬の同時改定のみならず、第 7 次医療計画・第 7 期介護保険事業（支援）計画・第 3 期医療費適正計画がスタートする。横倉会長のお話では、この 2018 年は、今後の医療・介護施策において極めて大きな節目となる、あらゆる分野のシステムがスタートする変革の年であるそうだ。

村岡嗣政 県知事は、昨年 12 月のプーチン露大統領の山口来訪により、長門市が注目を集めたことを挙げておられた。大統領が萩の銘酒を讃めてくださったことは慶賀に堪えないが、おかげで、そのお酒が大人気のため品薄で現在、われら県民が入手困難な事態となり、複雑な心境でもある。

来賓のご挨拶で、河村建夫 衆議院議員は、安倍政権も 5 年目を迎え、日本の政治は世界的にも安定している、自民党が下野した時期にもこの会にお呼びした山口県に対し、安倍政権への一層の協力をと呼び掛けられた。

ここで一番注目したのは、自見はなこ 参議院議員。ポスター以上に明るくパワフルな



雰囲気。医療系議員の勉強会の様子や下関・北九州をつなぐ新しいインフラの話題を交え元気に挨拶なさった。

このような会は、毎年継続することに意義があるが、時々新しい風が吹くことも重要であるなあと認識した。

乾杯のご発声をされた江里健輔 山口県立大学理事長は、女性医師の担当患者のほうが長生きするという、最近発表のハーバード大学の報告を紹介され、会場は盛り上がった。でも江里先生ご自身はこの発表を信じていらっしゃるのかしら？

岡 正朗 山口大学学長の万歳三唱、中原靖明 山口県薬剤師会長の閉会の辞で、和やかにつつなぐ、会がお開きとなった。

